

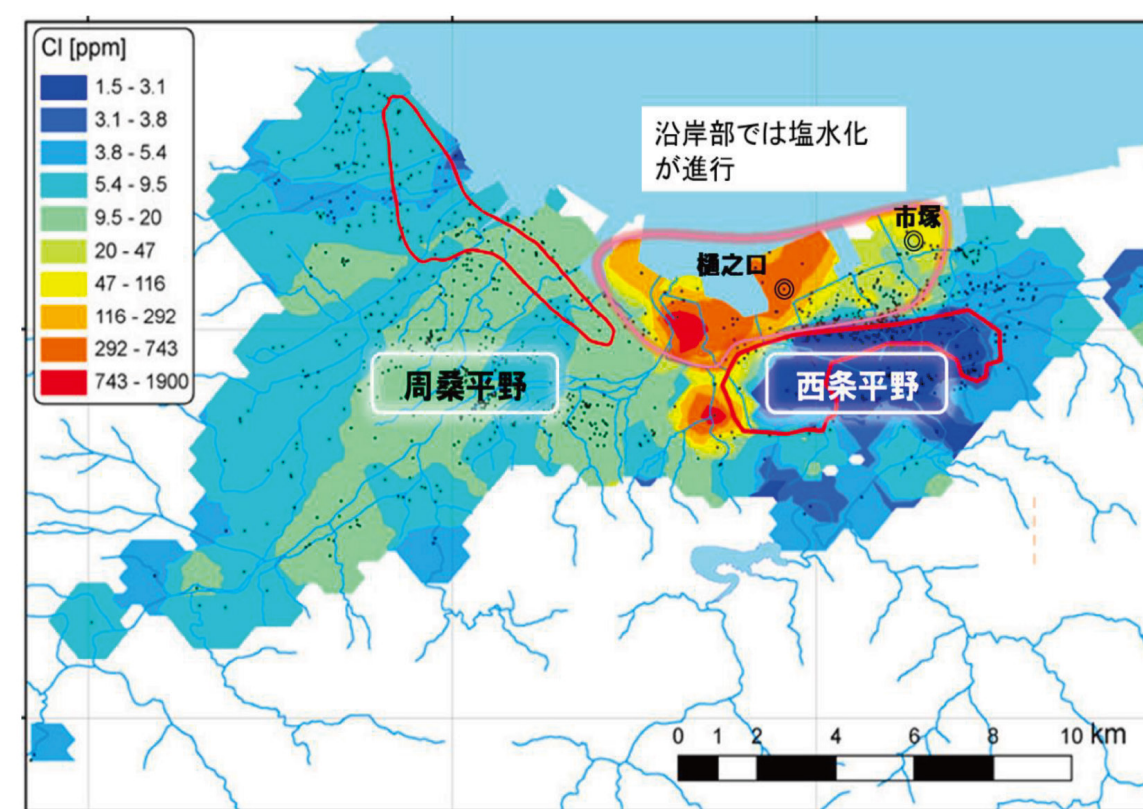


令和7年度 良好な環境を活用した観光モデル事業

「水の都西条」の未来につなぐ水資源 高付加価値化と環境保全還元モデル構築プロジェクト 株式会社のどか荘暮らしの設計室・hinel

事業概要

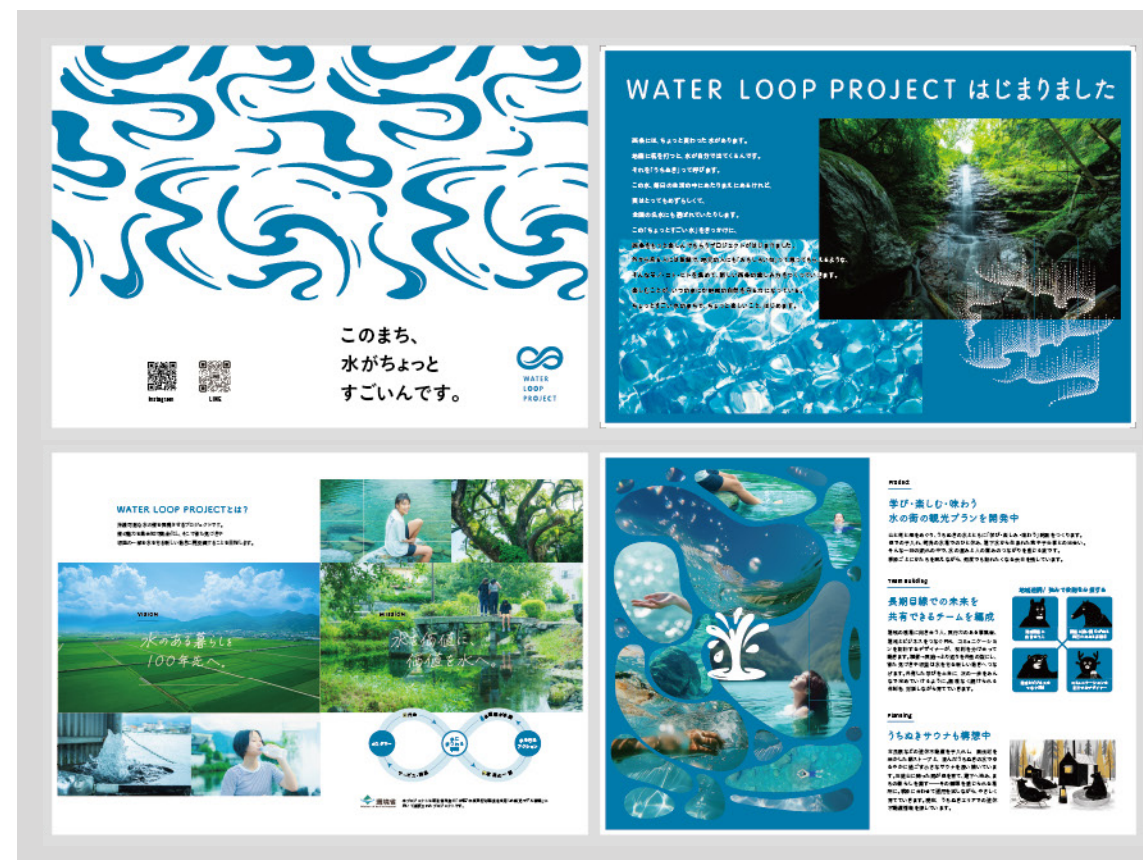
石鎚山系の豊かな地下水「うちぬき」が自噴する西条市では、地下水位の低下や沿岸部の自噴停止、塩水化の進行など、地下水源の持続性が課題となっています。保全につながる関係人口の創出を目指し、地域事業者・保全団体・観光事業者が連携するプロジェクトチームを組成し、課題に取り組みます。



図「地下水の塩化物イオン濃度の分布」出典：西条市地下水保全管理計画

今年度取り組み内容

地域事業者と協働で観光モデルプランを企画し、インバウンド向けテストツアー実施(予定)。水資源の課題・価値の認識共有、事業者間交流によりプロジェクトチームを組成。SNS運用・クリエイティブ制作・イベントで意識醸成とブランド強化を実施。循環型観光モデルの構築に向け多様なステークホルダーと連携します。

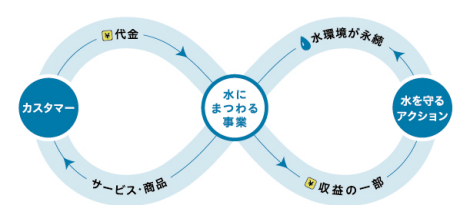


今年度成果



VISION
水のある暮らしを100年先へ。
MISSION
水を価値に、価値を水へ。

WATER LOOP PROJECTとは？
持続可能な水の形を実現させるプロジェクトです。
地の魅力と集客力で商品化し、
そこで得た気づきや収益の一部を
水を守る新しい動きに再投資することを目指します。



課題① 地下水位の低下
→ 沿岸部の自噴の停止
塩水化の進行

← 放置林を使う

解決策
林業従事者の人数が増え適切な管理で
森を管理し続けることが可能になる

課題② 水場の価値を
理解している人が
少ない

← 水場を使う

解決策
市民の水場をはじめとした原風景や
水資源の価値を再認識する

課題③ 農家が使っている
農業用水の水源の
管理問題

← 耕作放棄地を使う

解決策
農業従事者の人数が増え
水源地の保全の目的が可能になる

保全への循環を生み出す「WATER LOOP PROJECT」発足。交流会やSNSを通じた理念共有、事業者や住民の参画基盤を構築。3つの保全アプローチを策定。①塩水化の抑制に向けた水源の森の活用、②生活文化としての水場を維持するための活用、③農業用水の水源の適切な管理。地域事業者連携により、使うことで保全につなげる観光モデルプラン「学ぶ、楽しむ、味わう、西条の地下水源にまつわる体験観光」を企画。

次年度以降の目指す方向性

保全現場に関わる人、放置林・水場・耕作放棄地を活用した商品やサービスを生み出す人、商品やサービスを購入する人を増やすことで持続的な地下水源の保全につながる関係人口の創出を目指す。次年度は、インバウンド誘客モデルプランの開発販路開拓、仕組みの構築、関係人口を増やす仕掛けに取り組む。

持続的な湧水保全につながる関係人口を創出する

定義

持続可能な保全
＝継続的に関わってくれる人が多い状態

やる 保全現場に直接的に関わる

生む 放置林・水場・耕作放棄地を活用した商品やサービスを生み出す

買う その商品やサービスを購入する

関係の深さ

01 観光を通して保全現場や水にまつわる体験をする
→課題を知る・楽しさを知る・価値を知る

02 地域と定期的な関わりをもつ
→年数回、地域を訪れる・オンラインでも交流がある

03 継続的に地域と関わる
→関わり方は人それぞれ、直接保全現場に関わる人もいれば、商品を購入することで長期的に応援してくれる人もいる、大事なことは継続的に関わってくれること

03を念頭に01をやりきる！

問い合わせ先

株式会社のどか荘暮らしの設計室・hinel 担当：山中 裕加
電話：080-3523-2613 メール：uchinuki.saijo@gmail.com